

## 受験生の皆さんへ

海上保安官はその言葉どおり、働く拠点の多くは海から近い場所にありますが、船の上で働く人は海上保安官の約半数であり、残りの半数は陸や空で働いています。しかしながら、海や空といったこれまでに経験のないフィールドでの業務となるため、海上保安学校は全寮制とし、海上保安庁の一般職員に必要な学術及び技能の修得や心身の錬成を図ります。

この案内は、海上保安学校の教育内容や卒業後の勤務等がどのようなものかを、皆さんに知っておいていただくためのものです。**第2次試験当日までに必ずお読みください。**

また、記載内容等について質問のある方は、人物試験時に試験官にお尋ねください。

### 1 教育内容等

海上保安庁の職員として必要な知識・技能を修得し、強い精神力や忍耐力、チームワークを養うため、1年間の教育訓練を行います。

#### 【教育科目等】

##### （共通科目等）

海上保安に関する基礎教養、英語、情報処理（Office など）、体育（遠泳含）、基本動作（敬礼・行進などの所作）、小型船舶操縦（一級小型船舶操縦士免許取得）、乗船実習など

※海洋科学課程は、武道・武器等の訓練及び刑法・犯罪捜査等の警備救難基礎実務の科目は履修しません。

##### （専門科目）

数学、基礎科学、気象・海象、測地学、測量（水深測量・地形測量等）、情報処理（プログラミング・地理情報システム（GIS））、水路図誌編集、乗船実習（測量・観測）など

### 2 学生生活

- 海上保安学校は全寮制で、「班」単位で行動し、同じ自習室・寝室で生活します。学生生活を通じて、海上保安官に必要な精神、規律、責任感、協調性、気力、体力の錬成を図ります。
- 入学金・授業料等は一切不要です。学生生活に必要な制服や寝具等は貸与されますが、教科書・食費・身の回り品等は自己負担です。
- 入学と同時に国家公務員としての身分を与えられるため、毎月約20万円の給与や期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）が支給され、国土交通省共済組合員としての社会保障も受けられます。

### 3 卒業後の勤務地等

概ね3年前後で異動する全国転勤が基本です。勤務地は、東京都千代田区・江東区にある本庁及び北海道小樽市・宮城県塩竈市・神奈川県横浜市・愛知県名古屋市・兵庫県神戸市・広島県広島市・福岡県北九州市・京都府舞鶴市・新潟県新潟市・鹿児島県鹿児島市・沖縄県那覇市にある各管区本部、和歌山県東牟婁郡にある下里水路観測所のほか、本庁所属の測量船へ乗組員（観測科）として配属されることもあります。

卒業後の配属先は、本人の希望も考慮した上で、卒業時に決定されます。（本紙末尾の「海洋情報部関係施設」をご参照ください。）

### 4 卒業後の勤務内容

海洋科学課程卒業後は、海洋情報部の職員として、航海の安全、防災・環境保全、海洋権益の確保などに関する海洋情報の収集・管理・提供業務を行います。海洋調査や観測では、船や航空機に搭載した最新鋭の観測機器を駆使し取得データを、自らの手で処理・解析します。そのほか、南極地域観測隊への派遣や他国の関係機関との連携など、国際的な業務もあり、海をフィールドとした多種多様な業務に携わることができます。従事する業務については、本人の希



望も考慮した上で決定されます。

キャリアパスとして、所定の実務経験を積んだ後、選抜試験を受けることにより、幹部への登用もあります。



## 5 勤務環境

本庁及び各管区本部の海洋情報部では完全週休二日制（土日・祝日休み）で、庁舎でのデスクワークが基本となります。また、テレワークやフレックスタイム制（職員が一定の条件のもと始業・終業時刻を決めることができる働き方）にも対応しており、職員一人ひとりがそれぞれの事情に合わせて柔軟に働き方を選択することができます。測量船で勤務する場合は、当直や夜勤が伴います。

組織的に人材を育成する体制が整っているため、初めて従事する業務であっても弊害は全くありません。

## 6 女性活躍推進等の各種取組みについて

海上保安庁では、男性職員に限らず、女性職員も、海上保安学校長や管区本部次長、本庁課長、海上保安部署長、巡視船艇船長や船艇幹部、パイロット、海上交通センター運用管制官等、さまざまな業務に従事しています。また、ライフワークバランスの推進に関する取組みを行っており、男女問わず育児・介護を行いながら働き続けられるよう各種両立支援制度を整え、職員一人ひとりの事情に応じた活用を推進しています。

これにより、出産後に職場復帰する女性職員も多く、男性職員も育児に伴う休暇・休業を取得しています。

## 7 その他

海上保安学校での生活、具体的な業務内容、職場の雰囲気、処遇、キャリアパスなどに不安があり、職場見学や業務説明などをご希望される場合には、最寄りの管区海上保安本部海洋情報部にご相談ください。

海洋情報部の業務については、海洋情報部ホームページ、パンフレットで紹介しておりますので、是非参考にしてください。



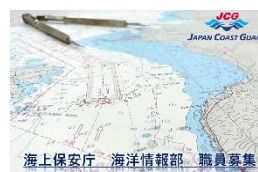
<海洋情報部 HP>



<海洋情報部パンフレット>



<海洋情報部採用 HP>



<海洋情報部採用パンフレット>



また、海上保安庁の業務などをより詳しく知ることができるホームページ、SNS を次のとおり紹介しますので、是非参考にしてください。

海上保安庁採用 H P



採用 X



インスタグラム



## 海洋情報部関係施設



# 調 査 票

この調査票は、第2次試験当日に持参してください。  
航空課程受験者にあつては、第3次試験当日に持参してください。

この調査票は、最終合格者に対し、採用内定をする上で必要となりますので、出来るだけ詳細に漏れなく記入してください。  
特に※印については、電話等での連絡時に必要となりますので、確実に連絡をとることができる連絡先を記載してください。  
また、本票は、第2次試験当日の試験終了後に回収しますので、忘れず持参してください。(航空課程受験者にあつては、第3次試験当日に回収します。)

## 1. 住所等調査票(海上保安学校全課程対象)

試験区分 海上保安学校 <input type="checkbox"/> 一般課程 <input type="checkbox"/> 航空課程 <input type="checkbox"/> 管制課程 <input type="checkbox"/> 海洋科学課程	第1次試験地  都市	受験番号  本籍地(都道府県のみ)	氏名(ふりがな)  生年月日 昭和・平成 年 月 日生	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
現住所(ふりがな) (〒 - )		※現住所の連絡先 自宅 [ - - ]		
【建物名・部屋番号まで記入してください】 ( 様方)		※【本人・親族・その他( )】の連絡先 電話 [ - - ] メール [ @ ]		
上記以外(高等学校・専門学校・大学等・会社・親族等)の住所及び学校・会社名等について記載してください。(上記連絡先で不在時等に使用)		※【上記以外(高校・専門学校・大学等・会社・親族等)】の連絡先		
上記以外の住所及び学校・会社名等(ふりがな) (〒 - )		電話 [ - - ]		
【学校・会社名まで記入してください】 ( 様方)		※【本人・親族・その他( )】の連絡先 電話 [ - - ] メール [ @ ]		

## 2. コース・管区希望調査票 (「一般課程」受験者のみ記入して下さい。)

海上保安学校の「一般課程」の「航海・機関・通信・主計コース」は、採用時にコースと配属管区を決定します。また、「一般課程」の「航空整備コース」は、【全国転勤】となります。決定されたコース及び配属管区の変更はできませんので、ご家族あるいは学校の先生等とよく相談の上記入して下さい。

また卒業後は配属管区内の巡視船等に配属され、その後、原則として配属管区内の巡視船や海上保安部署、海上交通センター等を転勤していくことになります。記入にあたっては、将来にわたって当該管区で勤務することを念頭に置き、希望するコース・管区を選んで下さい。

希望順位	コース名	航海	機関	通信	主計	整備
第1希望	コース	①	②	③	④	⑤
第2希望	コース	①	②	③	④	⑤
第3希望	コース	①	②	③	④	⑤
第4希望	コース	①	②	③	④	⑤
第5希望	コース	①	②	③	④	⑤

希望するコースを第5希望まで全て記入し、記入したコースに該当する番号をそれぞれ塗ってください。

①航海コース ②機関コース ③通信コース  
④主計コース ⑤航空整備コース

管区優先	①
コース優先	②
どちらでも良い	③

最も優先する事項を1つだけ塗ってください。

航空整備でも良い	①
航空整備は要検討	②

①か②のいずれか1つだけ塗ってください。

希望管区	第1希望	管区	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
第2希望	管区	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
第3希望	管区	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	

希望する管区を第3希望まで全て記入し、記入した管区に該当する番号をそれぞれ塗ってください。

①第一管区 ②第二管区 ③第三管区 ④第四管区  
⑤第五管区 ⑥第六管区 ⑦第七管区 ⑧第八管区  
⑨第九管区 ⑩第十管区 ⑪第十一管区

資格種類	あり	なし	資格名
海技士資格	①	②	
無線従事者資格	①	②	
航空整備士資格	①	②	
調理士免許	①	②	

受有する資格がある場合は資格名を記載し、①を塗ってください。

受有する資格がない場合は②を塗ってください。

※受有する資格は参考として聴取しているもので、合否やコース決定への影響はありません。

※上記に記載した希望は第2次試験日に、受験生自身でマークシート本紙に転記します。第2次試験日に転記誤りをしないよう、はっきりと記載しマークするようお願いいたします。本調査票と第2次試験日に記入したマークシート本紙で、記入内容が異なる場合は第2次試験日に記入したマークシートに基づき配属管区・コースを決定します。

※入学後、学業成績が不良で成業の見込みがない者は退学となります。